



学校評価特集号

コロナ禍であってもよりよい高井戸第二小をめざして

～令和2年度 教育調査・学校関係者評価の結果報告～

副校長 目黒 浩志

令和2年度もあと2か月を残すのみとなりました。まとめの時期を迎え、高二小では、今年度の教育活動を振り返り、次年度、さらによりよい学校になるための準備をしているところです。

令和元年度の終わりに新型コロナウイルス感染拡大のため3月に緊急事態宣言が出され、臨時休校が令和2年度の5月末まで延期になり、学校が再開されたのは6月でした。学校再開後も杉並区より水泳指導や音楽鑑賞教室など、様々な学校行事が中止なり、体育科や音楽科等で学習活動が制限される内容もありましたが、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、感染防止対策を十分にとり、日々の教育活動を進めてまいりました。昨年11月末からこの1月にかけて、教職員対象の自己評価、児童対象のアンケート、保護者の皆様への教育調査、学校評価委員（CS委員兼務）による学校関係者評価を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

この学校評価特集号では、令和2年度の本校の教育活動を、2年度教育調査および学校評価シート(自己評価・学校関係者評価)により振り返り、皆様からのご意見を今後の教育活動に生かす具体的な方策をお示しします。今後も引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

回収率：95.8%

	観点	令和元年度 教育調査(保護者アンケート)集計結果	肯定率 (%)	
			令和元年度	令和2年度
1	学 校 経 営	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	90.6	87.8
2	小中一貫教育	連携する小・中学校による小中一貫教育が進められている。	57.6	25.9
3	学 校 評 価	学校は、教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	79.5	67.6
4	学 級 経 営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりをしている。	87.2	86.4
5	学習成果の実感	子どもは、学校の授業を通して、分かることやできることが増えている。	89.1	92.0
6	学 習 評 価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	78.7	75.1
7	I C T	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	74.7	65.5
8	道 徳 教 育	子どもは、学校生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	83.5	88.4
9	体育・健康教育	子どもは学校生活を通し体力や食、生活習慣等、健康な生活を送る力が育まれている。	84.6	87.1
10	特別支援教育	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	54.7	55.9
11	地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	81.1	76.7

※ 肯定率：「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまり思わない」「まったく思わない」「質問の内容がよく分からない」

のうち、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を肯定ととらえ、パーセンテージであらわしたもの。

令和2年度 学校評価（自己評価）シート

経営方針	項目	具体的な方策	反省点・改善策の把握	令和3年度の方針
			◎成果 ■課題	
1 人権尊重の精神と豊かな心の育成	導いの充め・不登校の根絶と生活指	・よさを認める共感的な指導と組織的な体制づくり ・生活指導夕会（週1回） ・特別支援夕会（週1回） ・特別支援全体会（年2回） ・定例校内委員会（月1回） ・臨時校内委員会（適宜） ・SSW、子ども家庭支援センター等関係機関との連携 ・保護者との連携	◎校内委員会が適切に実施できていてよい。また、その後に夕会があり、話し合った内容を全体に周知できていた。 ◎特別支援全体会は、要点を抑えて情報共有されており、設定された時間の中で充実した情報交換ができた。補教に入った際などの対応が分かってよい。 ■夕会が設定された時間を過ぎてしまうことがある。	○校内委員会は、来年度も月曜日の委員会の時間に位置づけ、月1回の確実な実施を行う。また、週1回の特別支援夕会での丁寧な報告を継続し、共通理解を図る。 ○掲示板ですむ内容は掲示板を活用し、口頭での説明はしない。また、一人一人が、掲示板を常に確認し、提案内容を確認して、時間を守って打ち合わせを行う。 ○児童への個別の支援を充実させるため、担任間の引き継ぎを確実にし、保護者との連携を充実させる。
	明るい挨拶の行きかう学校	・大人が率先して挨拶する ・看護当番の活用 ・たてわりあいさつ運動 ・代表委員会のあいさつ運動 ・6年生のあいさつ運動（120周年の取組）	◎看護当番が昇降口で登校を見守ることで、児童のトラブルが回避できている。 ◎あいさつ運動がいろいろなところに波及していてよい。6年生のあいさつ運動のおかげで、明るい挨拶が見られるようになった。 ■交通指導員さんや警備さんなどへの校外での挨拶が少ない。	○看護当番については、教員が役割を意識して取り組んでいるので、継続する。 ○大人が率先してあいさつをすることで、子どもたちにあいさつをする習慣を身に付けられるようにする。 ○よりよい人間関係をつくっていくために挨拶が必要であることを改めて指導し、教員以外の人にも、場に応じた挨拶ができるようにする。
	豊かな心を育成するための道徳教育	・週1回の計画的な道徳の実施 ・自己有用感や自己肯定感を高めることを大切にしたい指導 ・夏季休業中の校内研修 ・道徳授業地区公開講座	◎週1回、計画的に道徳を行うことで、自己肯定感を高めることができています。 ◎道徳授業地区公開講座に向けて、夏季休業中に指導していただく機会があった。 ■道徳授業地区公開講座が3月のため、夏季休業中の研修から時間があいてしまった。	○道徳の授業については、来年度も計画的に実施する。 ○夏季休業中に講師を招き、道徳の研修会、指導案検討を行う。 ○今年度は行事の配列の都合上、3学期の実施となったが、来年度は、9月に道徳授業地区公開講座を設定し、夏季休業中の研修から時間があかないようにする。
	生きる環境の大切さを実感できる環境の整備	・教材園の活用 ・ピオトープの活用	◎6年生が自主的にピオトープを整備してくれたので、すっきりして活用しやすくなった。どのように活用していくか、さらに模索したい。 ■教材園について、どこまでがその年の仕事なのか明確でない。	○今年度の6年生のように、児童が主体となって整理できたのはとてもよかったので、来年度も児童の意欲を大切にしたい。 ○以前、杉並環境ネットワークの方に外部講師としてレクチャーしてもらった。来年度は、環境委員会にレクチャーしてもらう。 ○教材園は、雑草とり、マルチシートを敷くまでを年度内の仕事とする。5年生は、ジャガイモを植える。
2 確かな学力と体力の定	基本的な生活習慣・学習規律の徹底	・「たかにハンドブック」の活用 ・学習規律の統一 ・大切なすいみん講演会（※今年度は未実施）	◎「たかにハンドブック」のおかげで、指導が統一できている。 ◎保護者にとって分かりやすく、転入児童の保護者に説明するにも役立っている。 ◎今年度はコロナのためできなかったが、「大切なすいみん講演会」は基本的な生活習慣を身に付けるうえで効果的なもので、次年度は実施したい。 ■学年が上がるにつれて、持ち物のきまりを守らなくなっている実態がある。	○「たかにハンドブック」は来年度も配布する。4月中の配布を目指し、今年度中に作成する。 ○ノートのマス数など、実態に合わせて「たかにハンドブック」を年度ごとに更新する。 ○「大切なすいみん講演会」は、2年生、4年生の2学年で行い、生活のリズムを作ることの大切さを継続して指導する。 ○「学習に必要なものはもってこない」「持ってくるものはシンプルなもの」を、低学年のうちから定期的に指導する。
	読書活動の推進	・学校司書の活用 ・学校図書館経営計画・図書館全体計画の活用	◎団体貸出本は、保護者の選本ができない中で貸していただき、ありがたかった。 ◎学校司書が、学習の進度に合わせて、資料を迅速に準備してくれてありがたい。図書資料を授業で効果的に活用できている。 ◎ソーシャルディスタンスを守りながら、昨年度までとは違った形で読み聞かせやブックトークを実施することができ、子どもたちの本への興味が広がった。 ■図書の時間をさらに充実させたい。	○団体貸出本は、日常的に読書活動に取り組むうえで効果的である。広い視野で選んだ本が学級にあることで、いろいろな種類の本に触れるよい機会となっているので、保護者による選本は、引き続きお願いする。 ○来年度も、学校司書と担任が連携して、日々の読書活動の推進を図る。 ○コロナ対策として、「座席は間隔をあけて座る」「仕切り版を設置する」「読書の前後で、必ず手洗いをする」などの対策をしてきた。来年度も継続して感染症対策を行った上で、児童の本への興味を引くような活動に取り組む。

着	立学 習 慣 の 確	・家庭との協力 ・低中学年までに学習習慣を確立	◎学校に対して肯定的に見てくれている保護者が多く、家庭学習について、協力が得られている。 ■家庭学習が定着していない児童の保護者との連携が必要である。	○家庭との連携は継続する。児童にどのように指導するのかを共有したうえで、家庭と学校が足並みをそろえて指導できるようにする。 ○家庭との協力体制も踏まえて、個別の対応を継続する必要がある。
	体力 向 上 へ の 取 組 み	・「体育科年間計画」の活用 ・体育授業改善の普遍化 ・運動の日常化実践 ・ミニ研修会 ・短縄の取組 ・体力テスト ・基本的生活習慣の確立	◎感染症対策を講じたうえで、体力テストを実施できたのはよかった。 ◎休み時間に1学年体育館としたことは、校庭の密を避ける、運動する機会を保障するなどの点で、よかった。 ◎ミニ研修会のおかげで、授業の組み立て方を具体的に知ることができた。 ■長縄グランプリは、感染症対策の観点からも、実施が難しいのでは。	○体力テストについては、感染症の状況も踏まえたうえで、保護者に協力を依頼して行う。 ○体育館については、遊びの内容について、人数や発達段階を踏まえて指導し、安全に行えるよう配慮する。 ○ミニ研修会は、教員同士が切磋琢磨するうえで効果的な場であり、本校のよい取組として継続する。 ○長縄については、来年度から「グランプリ」という形では実施しない。体育朝会で、日頃の体育での取組の成果を出す場として実施するなど、取り組み方を変える。

令和2年度 学校評価（自己評価）シート

経営 方針	項目	具体的な方策	反省点・改善策の把握	令和3年度の方針
			◎成果 ■課題	
の2 定 め た 学 力 と 体 力	小 推 進 一 貫 教 育	※今年度は実施せず。 ・西宮中を核とした3校での取組 ・Q-Uテスト（学校生活満足度調査）の実施	○今年度Q-Uテストは実施できなかったが、来年度は実施したい。 ■Q-Uテストは実施せず、学力テストの生活アンケートで見取ってはどうか。	○Q-Uテストについては、学級の実態を客観的にみるよい資料となるので、来年度は実施する。 ○来年度の小中一貫については、感染症対策を考慮したうえで、交流のしかたを検討する。

3 教 師 の 授 業 力 の 向 上	の週 記 の 指 導 計 画	・前週までに作成 ・ねらい、中心活動、安全配慮事項などを適宜記入する	◎時数について、月ごとに管理されており、計画的に授業を実施することができた。 ■学年の打ち合わせの時間を設定するのが、難しい。	○学年での打ち合わせを行い、前の週に次週の週案を作成する。 ○学年会を行事予定に設定するのは難しいので、学年で相談し、あき時間や放課後の時間に設定する。
	成 授 業 改 善 プ ラ ン の 作 成	※今年度は実施せず。 ・学力テスト（国、都、区）の結果分析を生かした授業改善推進プランの作成 ・学力向上校内研修会の実施	◎学力テストの結果は、実態を把握するうえで有効。 ■学力テストの結果を、算数などのコース分けに活用したかった。	○来年度は、学力向上校内研修を夏季休業中に実施し、授業改善推進プランを作成して、授業改善に生かす。 ○来年度は、国、区で学力テストを、都で「学びに向かう力」等に関する意識調査を実施予定である。 ○学力テストの分析結果を、算数のコース編成や授業改善推進プランの作成に活用する。
	同 僚 教 員 か ら 学 ぶ	・お互いの授業を見合って学ぶ ・年3本以上、他の授業を参観 ・授業観察の機会活用 ・長期休業中、隙間時間の教員主体のミニ研修会	◎お互いの授業を見合う「ちょっと見」ができる雰囲気があってよい。 ◎たくさんの研究授業を見合うことができた。忌憚なく授業について言い合える雰囲気がある。	○「ちょっと見」は継続し、授業を見合える雰囲気は大切にする。 ○研究授業で、授業者への尊敬の念はもちながら、研究について思ったことを言えるところは、本校のよさ。教員が進んで学ぼうとする姿勢をもって、研究に取り組む。 ○ミニ研修や自主研修会など、教員が主体的に授業力を高められる場を設ける。
	校 内 研 究	・区の研究指定校として国語科授業改善の取組	◎コロナ禍でありながら、感染症対策をしたうえで、予定通り研究が進められてよかった。 ◎国語だけでなく、教科を広げて研究授業を行うことができてよかった。	○来年度も感染症対策は必須。安全を第一に考え、感染症対策を講じたうえで研究に取り組み、授業力の向上に努める。 ○さらに教科を広げ、国語以外の研究授業も分科会で支えられるような仕組みをつくる。

4	明 学 校 経 営 方 針 の 説	・6月の保護者会で、学校経営方針の説明、周知 ・年度末に教育活動の報告（3月の保護者会前に実施） ・教育調査の結果に基づいた改善	◎教育調査の結果に基づいた改善ができている。 ◎評価を数値化して見やすくしているのは、客観的に評価することができてよい。 ■学校経営方針説明会の参加率を上げたい。	○教育調査で、肯定率に課題がある項目については、引き続き改善を行う。 ○引き続き保護者にお知らせしていく。
	ル テ コ イ ミ ス ク ー	・学校運営協議会の定期的な開催 ・地域運営学校の利点を生かした学校経営	◎感染症対策を実施したうえで、学校運営協議会が実施できてよかった。教育活動の計画や状況を定期的に報告したり、助言をいただくことができた。	○年度当初に年間計画を立て、見直しをもって充実した話し合いをもてるようにする。 ○来年度も、各学期に3回ずつ、年9回、学校運営協議会を開催する。

開 か れ た 学 校 づ く り	学 校 支 援 本 部 ・ 地 域 ・ P T A ・ 保 護 者	※今年度●印実施 ●授業支援（キャリア教育等） ・学習支援（学習サポーター等） ・放課後活動（学び広場等） ・土曜日学校、ふれあい夢広場 ・読書活動支援（読み聞かせ等） ・環境整備（図書室整備等） ●草花の植付け（環境委サポート） ・震災救援所訓練 ・体力テスト ・集団下校 ・水泳見守り隊 ●児童預かり たんぽぽの会 ・PTA行事、学年行事 ●広報活動 ・夏季ラジオ体操、地域のゴミ拾い ・泊まろう会、地域パトロール（親児の会主催） ●120周年記念行事	◎キャリア教育では、支援本部で大変お世話になっている。コロナ禍で引き受けてくださった保護者の方にも、感謝している。多くの方が受けてくれたおかげで、児童の学びが充実するとともに、密を避けて実施することができるので、ありがたい。 ◎（■）学習サポーターについていただくのはありがたい。学力の偏りがあり、じっくりコースの指導は大変。学習サポーターを再開してほしい。 ◎保護者会の際には、「たんぽぽの会」が児童を預かってくれた。今年度も行っていたいただき、大変ありがたかった。 ◎地域の方に支えていただいていることを、120周年でも実感できた。	○キャリア教育や学習サポーターの体制づくりと、学校支援本部の活動には本当に助けられている。教員と支援本部が、打ち合わせを密に行っていることで、足並みをそろえ、充実した授業が実施できているので、来年度も協力体制を維持したい。 ○学習サポーターは、算数につまずきのある児童にとって大きな支えとなっている。現状では、ボランティアであることを考えると、すぐに再開するのは難しいが、感染症の状況がよくなった場合は再開をお願いしたい。 ○パワーアップ教室が実施となった場合は、昨年同様、学習サポーターをお願いする。 ○地域班による集団下校は、来年度から「4月」と「10月」に実施し、適時に集団下校を経験できるようにする。 ○120周年では、「高二周年事業実行委員会」の方に支えていただき、充実した式典、記念行事を行うことができた。今後も、地域とともに歩む高2小でありたい。
	管 理 人 情 報 の 故 会 防 止 事	・学期末に教職員作業日を設定し、環境整備を行う ・複数での個人情報の処理	◎文書保管庫がきれいになり、わかりやすくなった。	○整理整頓は、個人情報を扱う上で重要なことなので、整理された環境を維持する。 ○学力テストなどの個人情報を封入する際は、必ず複数で行うよう、作業日を行事予定に入れる。
5 服 務 の 厳 正		・教材等の集金方法の工夫	◎会計事故防止の観点から、お金を教員が直接扱わない体制ができてよい。	○教材を学校で販売する際は、業者と事前に打ち合わせを行い、保護者が金銭のやり取りを直接する体制を継続する。

「教育調査」の集計結果と教育活動の報告

今年度の杉並区教育調査は、区内共通の11の設問について、保護者の皆様に児童数配布で学校評価のアンケートをお願いしました。回答率は95.8%。数字の高さから、保護者の学校教育への関心の高さがうかがえ、日常の教育活動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

肯定率が高かった項目【85%以上の数値について、肯定率が高い項目としました。】は、『学習成果の実感92.0%(89.1)』『道徳教育88.4%(83.5)』『学校生活に満足87.8%(90.6)』『体育・健康教育87.1%(84.6)』『安心・安全な学級経営86.4%(87.2)』でした。()内の数字は令和元年度のものであります。

肯定率が低かった項目【75%未満の数値について、肯定率が低い項目としました。】は『小中一貫教育25.9%(57.6)』『特別支援教育55.9%(54.7)』『ICTの活用65.5%(74.7)』『学校評価67.6%(79.5)』という結果でした。以上の項目につきましては、本校の課題ととらえ、以下、経営の重点と関連づけながら、ご説明いたします。

年度当初お示ししたとおり、4つの大きな学校経営目標を掲げ、取り組んでまいりました。目標ごとに取組状況と来年度に向けての課題をお示しします。

1 人権尊重の精神と豊かな心の育成

高井戸第二小学校では、「互いのよさを認め合い高め合う学級、学校づくり」を目指しています。

いじめ・不登校のない学校をめざし、一人一人がかけがえのない存在として尊重されることを児童一人一人にしっかり根付かせたいと考えています。特別支援教育については、令和元年度から行っている3年生と久我山学級の児童との交流学年を3年生と1年生に広げたり、久我山学級担任による通常学級児童へのオリエンテーションを実施したりするなど、児童間の交流を通して、児童への特別支援教育についての理解や啓発を図っていきます。また、道徳授業地区公開講座などの機会にも特別支援教育をテーマとした講演会を実施していきたいと考えています。

具体的な取組は以下の通りです。

(1) 一人一人をしっかり見つめる目を学校全体で強化し、組織的に対応する

年2回の特別支援全体会や月1回の校内委員会、週3回の職員夕会の実施

今年度も対応すべき状況があった場合には、担任一人で抱えることなく、校内の生活指導や教育相談、特別支援の組織を活用し、組織的な対応を心がけてきました。職員全体で対応しようという意識が定着してきています。特に校内委員会は、学校生活の中で「困り感」をもっている児童に学校が組織体としてどう働きかけていくか、検討し、対応してきました。今後も保護者の皆様との連携をさらに深めるために個人面談をより充実させていきます。

(2) 関係専門機関と連携し、迅速な解決を図る

学校だけで解決できないケースについては、子ども家庭支援センターや済美教育センター、学童クラブ、近隣校、児童相談所、民生児童委員等と連携を密にして、保護者と協力し解決に向けた努力をしてきました。

いじめにつながるような言動など、気になることがありましたら、具体的に担任までご連絡ください。保護者の皆様と連携し、指導を徹底していきます。

また、お子様のことでの相談については、担任や校長、副校長だけでなく、専門の知識をもったスクールカウンセラー（臨床心理士）に相談することができます。主に火曜日が出勤日です。留守番電話機能付きの直通電話もあります。予約の上、ご遠慮なく活用してください。

今年度は、9月に特別支援学級（久我山学級）で、東京都立中野特別支援学校進路指導主幹の小野寺肇先生を講師として「高等学校での生活と就労に向けて今からできること」を演題に保護者を対象に講演会を開くことができました。次年度も引き続き講演会を実施していきます。

2 確かな学力と体力の定着

高小の児童が予測不能な時代をたくましく生き抜く力を育むために、昨年度より杉並区教育委員会 教育課題指定校として新学習指導要領のねらいを具現化するための「学びの構造転換」を目指し、対話を核とした「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程の改善を図り、対話を通して他者と学び合う活動を取り入れてきました。また、確かな学力を定着させるために、一人一人の学力の実態に応じた指導を徹底し、特に算数では習熟度別少人数指導が効果を発揮しているととらえ、「学びのこし」のある児童も、算数の得意な児童も共に、学力の伸長を目指しています。次年度も学力中位の子どもたちの思考力・判断力・表現力を伸ばし、上位に引き上げることを課題とし、学力向上に取り組んでまいります。

今年度、全校体制で学力向上のために取り組んできたのは以下の5点です。今後も一人一人の学力をしっかりとつけるために、さらに力を入れて取り組んでまいります。

(1) 学習規律（＝見えない学力）「たかにハンドブック」の徹底

児童に確かな学力をつけることは、私たち学校の責務です。学力向上のために、「見えない学力」をしっかりとつけていくことを、保護者の皆様にもお願いします。

「見えない学力」とは、「学力」を支えるもの、具体的には、①「早寝早起き朝ごはん」で体調を整える。（9時までに寝ましょう）②学習用具をきちんと用意する。（学習への心構え）③よい姿勢で相手を見て話を聴く。④相手に分かるように話す。⑤本をたくさん読む。⑥家庭学習の習慣を身に付ける。などです。高小ならどの学級でも守るのが当たり前という学習規律を「たかにハンドブック」で確認し、全校体制で取り組んでまいりました。毎年、よりよいものとするため、見直しをしています。令和3年度においては、感染症予防の観点から「新しい学校生活習慣」を追加する予定です。

(2) 学年に応じた読書への取組

豊富な読書量は確かな学力を培うことから、読書活動への取組を進めていきます。今年度は感染症拡大防止の観点から読み聞かせボランティアによる活動は残念ながらできませんでしたが、学校司書による読み聞かせは今年度も実施してきました。また、学級文庫（宮前図書館団体貸し出し本）の選定は、宮前図書館がしてくださいました。どちらも、担任が一人で行うと、内容等に偏りが出てしまうこともあり、大変ありがたいご支援でした。児童には学校図書館だけでなく宮前図書館の利用も進めているところです。さらに2学期に読書旬間を実施し、「読書旬間コラボメニュー」など新しい取組を通しての読書活動を推進することができました。また、各学年で1年生は50冊、2年生は60冊、3年生は3000ページ、4年生は4000ページ、5年生は5000ページ、6年生は6000ページ、久我山学級は40冊を1年間の読書目標として取り組み、1月に全校朝会で読書目標を達成した児童に多読賞の表彰を行いました。さらに、低・中・高別の「たかにおすすめ本」として低学年50冊、中学年60冊、高学年80冊を選定しています。子どものうちによみたい本ばかりです。次年度もこれらの取組をすすめていきます。

(3) 家庭学習の習慣の定着

日々の授業で学んだ、つまずきやすい内容を繰り返し反復して学ぶことは、確かな学力をはぐくむために重要です。小学校低・中学年までに学習習慣を確立できるよう、次年度もご家庭の協力を得て、身につけさせていきます。

(4) 体力向上への取組

次に体力の育成についてです。

今年度、長縄跳びについては、練習の際、間隔をつめて一列に並び、元気に声をかけることもあり、全校児童が練習をすると、密の状態を避けるのが難しいため中止いたしました。また、体力テストについては、昨年度は、多くの保護者の皆様に計測のお手伝いをいただいておりますが、今年度は7月から9月にかけて、各学年・各学級で例年よりも長い期間に分けて実施しました。感染状況が許せば、来年度の体力テストに際し、多くの保護者の皆様に計測のお手伝いをいただきたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

次年度も調査結果を踏まえた授業改善をしたり、外遊びがしたくなるような場の設定や遊びの多様化等、運動遊びの日常化を進めたりすることで、児童の体力向上に取り組んでいきたいと考えています。子どもの体力向上のためには、子どもの生活の中に、楽しく外遊びをする時間を少しでも長くつくることも肝要であると考えます。

コロナ禍ではありますが、感染防止策をとり、各ご家庭では、テレビやゲームの時間を見直し、できるだけ外で元気に遊ぶよう働きかけていただくようお願いいたします。

今後も児童の運動の日常化について学校・保護者で連携し、たくましい児童の育成に努めていきたいと思います。

(5) 小中一貫教育の推進

小中一貫教育の推進については、自分のまちに誇りをもち、未来を担うしっかりした「生きる力」をもった人間を9年間の義務教育で育てることを使命とし、西宮中学校を核にして本校と松庵小学校の三校で「学びをつなげ、切れ目のない教育を進める」ことを目標に授業参観や協議会を通して、相互理解を深め、協力協働して子どもたちの育成を進めてきました。しかし、今年度は三校での授業参観や協議会が中止となったため、昨年度のように「小中一貫だより」を発行して取組を紹介できませんでした。ただ、今年で3年目となる西宮中学校と本校による小中交流活動（昨年度までは「中学生による読み聞かせ」）を今年度は、中学校の図書委員12名がハガキでおすすめの本の紹介をしてくれました。高二小の児童が読書郵便用のハガキで、紹介してくれた中学生に感想を送り、読書郵便による交流を行うことができました。今後も小中一貫教育の内容を深めるとともに三校での取組を「小中一貫だより」で紹介していきたいと考えています。

3 教員の授業力の向上

今年度は、感染予防の観点から、多くの学校行事が中止や延期されました。学校行事があまりできないということで、児童にとって学びがいのある授業を積み上げ、教員一人一人が授業力の向上に力を入れてきました。「学校は、人が育つところ」、児童と同様に教員一人一人も、教えることのプロフェッショナルとして育っていく場を目指しています。1時間1時間の授業がよくわかり楽しいことは、学校が一番力を入れなければならないことです。教育調査のアンケートでは、昨年度に引き続き、教員の授業力向上に関わる3つの項目（『学習成果の実感92.0%（89.1%）』『学校生活に満足87.8%（90.6%）』『安心・安全な学級経営86.4%（87.2%）』）でプラスの評価をいただきました。次年度も、長期休業中の学力向上の校内研修会を通して授業改善プランを作成し、児童の実態をしっかり把握し、よく分かる授業を目指していきます。また、今年度は「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図る校内研究を進めています。マスク着用やソーシャルディスタンス等の対策をとった上で対話を通して他者と学び合う活動を取り入れ、児童が学級内で互いを認めながら、より一層、自己の考えを広げ、深められるような学習指導に力を入れてまいります。そして、学びの個別化と探究探求化、それに協働を融合する学びである「学びの構造転換」についても研究を深めてまいります。

教育調査の保護者のアンケート『教材教具（ICT）の活用65.5%（74.7%）』は、昨年度に比べ低い評価でしたが、児童のアンケートでは、30年度92.6%、令和元年度93.2%、今年度97.4%と着実に上がってきています。今年度、児童用タブレットPCが120台導入されたことで、児童一人一人がタブレットPCを活用して授業をすることが多くなってきました。また、来年度に向けて、児童1人1台専用タブレット端末の導入の準備も現在進められているところです。今後はさらにデジタル教科書やロイロノート、動画コンテンツなど、1人1台専用タブレット端末を各教科の協働学習や個別学習に活用し、児童一人一人の学び方や課題に応じた多様な学びができるように授業改善を図っていきます。学校公開ができる状況に一日も早くなるよう、学校も感染予防に努めてまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

4 開かれた学校づくり

今年度は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、区特定課題調査（３年～６年生）をはじめとする学力調査が中止となり、残念ながら学校だよりで結果等の情報を発信できなかったこともあり、教育調査の結果『学校評価の情報提供は、６７．６％（７９．５％）』で昨年度より１１．９ポイント肯定率が下がりました。今後、学力調査や体力調査等が実施された際には、その結果について学校だよりで特集を組み、迅速に情報を発信していきます。

コロナ禍で、放課後活動（学び広場）や読書活動支援（読み聞かせ等）など、実施できなかったものもありましたが、ご協力いただける範囲でご支援をいただきました。

高井戸第二小の教育活動が学校支援本部・保護者・地域の皆様に支えられ成り立っていることに変わりはありません。心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、今年度、高井戸第二小学校は開校１２０周年を迎えることができました。「開校１２０周年記念事業実行委員会」の会長をお引き受けいただいた久我山南自治会長の大熊昌敏様はじめ、１５名の方々が委員を引き受けてくださり、各方面からのご支援やご助言、資料提供など、折りに触れご協力いただきました。そして記念行事等を具体的に企画運営していただいた「チーム１２０」（秦弘明代表他１２名の皆様）には「１２０th アニバーサリームービー」の制作や１０月１０日（土）に実施した「高二新発見ウォークラリー」の準備と当日のお手伝いなど、大変精力的に１２０周年の取組を進めていただきました。さらに９０・１００・１１０周年と引き継いでくださった協賛金から、新たに整備した郷土資料室の整理戸棚７台を寄贈していただきました。また、高二小ＰＴＡからは、炎暑から子どもたちを守るミストシャワー（全長２０ｍ）とベンチ１基を寄贈していただきました。この１２０周年の取組でも地域・保護者の皆様に支えられ、応援していただくことで今の高井戸第二小学校があることを実感しています。心より感謝申し上げます。

ここまで多岐にわたりましたが、教育評価にからめ、令和２年度 高井戸第二小学校の教育活動の報告と次年度に向けた改善策等について述べさせていただきました。

ご理解いただき、今後もよりよい学校づくりにご協力ください。

お知らせ

6年生を送る会

今まで学校の最高学年として頑張ってきた6年生に、在校生は感謝の気持ち、そして卒業を祝う気持ちを伝えます。この会を通して、6年生は入学してからの6年間を在校生とともに振り返り、卒業に向けて一歩踏み出します。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、全校児童が一同に集まりませんが、体育館にいる6年生に向けて、学年ごとに出し物を発表しにいきます。また、たてわり班でも、お別れ集会を行い、同じ班でお世話になった6年生に直接感謝の気持ちを伝えます。

児童の感染症対策について

新型コロナウイルス感染者が急増し、緊急事態宣言が発令されています。学校では子どもたちの学びを保証するために、可能な限り通常の学習活動を続けていきます。子どもたちが安心して学びができるよう、ご協力ください。

- ・朝の検温・健康観察・健康観察カードの記入
- ・マスクの着用（杉並区では保健所の指導により不織布マスクを推奨しています。）

本人や家族に発熱や味覚・嗅覚異常等の風邪症状がある場合は、登校を控えてください。また、本人や同居のご家族が新型コロナウイルスの検査を受ける場合は、学校にお知らせください。

令和2年度 卒業式について

令和2年度の卒業式については、「杉並区立学校感染症対策と学校運営に関するガイドライン」に基づき、感染症防止策を十分に講じた上で、下記のとおり実施いたします。

記

日時：3月25日（木）10時から11時30分

場所：本校 体育館

参列者について

- ・来賓招待は、なしとします。（学校運営協議会の委員のみ参列）
- ・保護者は各家庭1～2名以内とします。
- ・在校生（5年生）の参加は、なしとします。

以上のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために例年と異なる卒業式となりますが、大きな希望をもって巣立っていく卒業生の門出を心をこめてお祝いしたいと思います。保護者の皆様方には、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

離任式

今年度高二小を去られた先生方に、お別れが伝えられておりませんでした。お招きしての離任式実施が困難なため、今回は朝の時間にオンライン放送での「離任式」を行います。全校児童がお手紙を書き、郵送で届けます。遠く離れてはいますが、離任された先生方に感謝の気持ちや今の元気な様子が伝わるよう、手紙に思いを込めて伝える機会にしていきます。

オーケストラ鑑賞教室（５・６年）

２月２４日(水)に、神奈川フィルハーモニー交響楽団の皆さんが本校体育館にて演奏していただきます。（文化庁「子どものための文化芸術体験機会の創出事業」）

対象は５・６年生です。感染症対策として学年を分け、鑑賞時間を３０分間とします。

体育館で聴くオーケストラの演奏は、音の振動まで体に伝わってきそうに楽しみですね。子どもたちの心に残る機会となりますように♪

令和２年度 第５回学校運営協議会 概要報告

１ 日時 １月２３日(土) １３時～１５時

２ 場所 校長室

３ 出席者 熊耳・前田・向・小嶋・野上・金澤・加藤・岡村・右寺（事務局）目黒・野田・杉田・上田

４ 議題

- ①会長より
 - ・緊急事態発出中の厳しい状況のコロナ禍の日々が続いています。学校は子どもたちの安全な学校生活を維持するために、この一年間様々な努力をしてくださっていることに感謝申し上げます。
 - ・昨年１２月１２日、「すぎなみ教育シンポジウム２０２０」に参加してきました。
 - ②校長より
 - ・「子どもを中心に」に据えた開校１２０周年の取組みをＰＴＡ広報誌「もちの木」で特集してくださいました。コロナ感染防止を第一に考え、来賓の方々のご出席はかないませんでした。多くの方々のご協力・ご支援のもと１２０年の歴史を全校で体感できました。
 - ③議題
 - ・令和２年度学校評価について
保護者の評価、児童（５・６年生）の評価、教員の評価について３年間の経年比較をしながら説明があった。
 - ④質疑
 - ・コロナ禍の中で様々な制限を受け、例年と違った教育活動を強いられたため、十分な成果を上げることができなかった項目があったことは理解できる。
 - ・評価の回答はどのような形で求めているのか。
→５段階の数字で回答していただき、「５・４」を肯定的な意見としている。
 - ・コロナ禍の終息は見通せない。今年の反省を踏まえて行事の組み替えも必要では。
→コロナの影響だけでなく、様々な視点も含め、令和３年度の計画を検討中である。
- ※教育調査の結果は、学校だより２月号を通してご確認ください。

～2月行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	月		5	5	5	6	6	6	
2	火	あいさつ運動緑2・緑1 安全指導 SC	5	5	6	6	6	6	
3	水		4	5	5	5	6	6	B
4	木		5	6	6	6	6	6	
5	金	新1年生保護者会	4	5	5	6	6	6	
6	土	土曜授業（公開なし） 糸車体験①	4	4	4	4	4	4	
7	日								
8	月	委員会（2月） 避難訓練	5	5	5	5	6	6	
9	火	離任式（朝の時間） SC	5	5	6	6	6	6	
10	水	社会出前授業③（1～4h）	4	5	5	5	6	6	B
11	木	建国記念の日							C
12	金		5	5	5	6	6	6	
13	土								
14	日								C
15	月		5	5	5	6	6	6	
16	火	避難訓練 SC	5	5	6	6	6	6	
17	水		4	5	5	5	6	6	B
18	木	特別時程 研究授業(3-2授業)	4	4	4	4	4	4	
19	金	社会科見学③	5	5	5	6	6	6	
20	土	土曜授業（道徳授業公開：①③⑤A、 久1・2年） キャリア教育⑥	5	5	5	5	5	5	
21	日								C
22	月	振替休業日							
23	火	天皇誕生日							C
24	水	オーケストラ鑑賞教室⑤⑥	4	5	5	5	6	6	
25	木	理科出前授業④（3～6h） お祝い放送	5	6	6	6	6	6	
26	金	社会科見学⑤ 短縄旬間終	5	5	5	6	6	6	
27	土								
28	日								C

○の数字は学年、(久)は久我山学級を表します。
SC・・・スクールカウンセラー来校日です。
水曜日は原則、毎週特別時程です。
PTA・地域行事等は斜体で表します。

※2/20（土）の6年キャリア教育の公開はありません。

※感染症の状況によっては、行事等の変更があります。

～3月行事予定～

日	曜		授業						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	月	委員会(3月) SC	5	5	5	5	6	6	
2	火		5	5	6	6	6	6	
3	水	6年生を送る会1,2h たてわりお別れ集会	4	5	5	5	5	5	
4	木	保護者会①⑥ 避難訓練	5	6	6	6	6	5	
5	金	社会科見学⑥	5	5	5	6	6	6	
6	土	土曜授業 道徳授業公開 (公開：②④⑥A・久3年)	4	4	4	4	4	4	
7	日								C
8	月		5	5	5	6	6	6	
9	火	安全指導 保護者会③⑤ SC	5	5	5	6	5	6	
10	水		4	5	5	5	6	6	B
11	木	保護者会②④(久) 卒業・進級を祝う会(久)	5	5	6	5	6	6	
12	金		5	5	5	6	6	6	
13	土	土曜授業 道徳授業公開 (公開：①～⑥B・久4～6年)	4	4	4	4	4	4	
14	日								C

校庭開放について

水曜特別時程4時間・・・13:30～16:00 (A)
水曜特別時程6時間・・・14:40～16:00 (B)
日曜日・祝日・・・・・・13:00～16:00 (C)
※11月～2月までは16:00までです。

＜教育活動報告会・保護者会のお知らせ＞

各学年の保護者会の前に教育活動報告会を行います。会場は**体育館とランチルーム**に分かれて行います。ぜひご参加ください。

○日程

3月 4日（木）1年（体育館） 6年（ランチルーム）
3月 9日（火）3年（体育館） 5年（ランチルーム）
3月11日（木）4年（体育館） 2年（ランチルーム）
久我山学級（久我山プレイルーム）

※教育活動報告会の後はその場で保護者会となります。

2月の生活目標『健康で安全な生活をしよう』

今年はコロナウイルス感染症対策として、マスク着用や手洗いの徹底により、インフルエンザでお休みする児童が、昨年と比べると大変少なくなっています。引き続きマスク着用や手洗いをしてさまざまな感染症を防いでいきたいです。また、抵抗力を高め丈夫な体を作るためには、外で体を動かすことも大切です。先日なわとびカードも配られました。寒さに負けず、晴れた日には外に出て、体を動かして健康で安全な生活を心がけていきましょう。